

牧之原市教育委員会
自己点検・評価報告書

平成25年3月

牧之原市教育委員会

〈参考〉 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I	はじめに	1
1	趣旨	2
2	点検・評価の対象	2
3	点検・評価の方法	2
4	点検・評価結果の構成	2
II	牧之原市教育委員会の事業内容	3
1	教育委員会の活動	3
2	教育委員会が管理・執行する事務	4
3	教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	5
施策 1	「次世代育成支援行動計画」を踏まえた幼児教育の推進	5
施策 2	遊びを通じた教育による「生きる力」の基礎づくり	5
施策 3	地域社会や幼稚園(保育園)、小・中学校と連携した教育の 推進	5
施策 4	基礎的・基本的な内容の定着と自ら学び、考え、表現する 力の育成	5
施策 5	自立と共生の心を育む教育の推進	5
施策 6	生命を尊重する心を育てる道德教育の推進	6
施策 7	国際理解、情報教育及び理科教育の推進	6
施策 8	地域に根ざした特色ある学校づくりの推進	6
施策 9	教職員研修の充実と教職員の資質・指導力の向上	6
施策 10	豊かさとうるおいをもたらす生涯学習活動の推進	6
施策 11	活力ある地域をつくることや、生涯学習活動支援のための、 拠点となる公民館の充実	7
施策 12	心豊かでたくましい青少年の育成	7
施策 13	明るく健全な家庭を築くための成人教育の推進	7
施策 14	図書館の利用と読書活動の推進	7
施策 15	芸術・文化の振興	7
施策 16	文化財の保護と継承	7
III	牧之原市教育委員会の自己点検及び評価	8
IV	学識経験者の意見	20
V	総合評価	21

I はじめに

牧之原市教育委員会では、第1次牧之原市総合計画（平成19年度から平成27年度までの計画期間）において掲げた牧之原市が目指すべき将来都市像である、「支えあい学びあう幸せのまち」の実現に向け、平成19年度から平成22年度までの前期計画の4年間、教育行政において様々な施策や事務事業に取り組んでまいりました。平成23年度からスタートした平成27年度までの後期計画の5年間におきましても、将来都市像の実現に向け様々な施策や事務事業に取り組んでまいります。

さて、平成20年4月に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、教育委員会が高い使命感をもって責任を果たし、教育行政の体制の整備及び充実に努め、効果的な教育行政を推進するため、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

このため牧之原市教育委員会といたしましては、市民の皆様に説明責任を果たすため、今年度も、学識経験者の知識・知恵をお借りして教育委員会活動の点検及び評価を実施し、このたび報告書として取りまとめたところであります。

牧之原市教育委員会では、今後も、牧之原市総合計画に掲げた将来都市像の実現に向け、教育行政の基本方針である「高いところざしを持った、心豊かでたくましい牧之原の子どもの育成」、「豊かでゆとりに満ちた生涯学習社会の実現に向け、生涯にわたり主体的に学び続け、活力あふれる人づくり、地域社会づくり」を目指しそれぞれの施策を進めてまいる所存であります。

平成25年3月

牧之原市教育委員会委員長 鈴木 干城

1 趣旨

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定に基づき、毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業の取組状況について、政策効果を把握し、その必要性・効率性等の観点から、自ら点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、この点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、市議会に提出し、また一般に公表することにより、市民に対する説明責任を果たし、信頼される教育行政を推進しようとするものです。

2 点検・評価の対象

点検及び評価は、平成 24 年度における教育委員会の主要な施策・事業を対象として実施いたしました。

3 点検・評価の方法

点検及び評価の実施にあたっては、平成 24 年度の事業について、その進捗状況を総括するとともに、課題や今後の取組の方向性について、内部評価を行うと同時に、教育に関し学識経験者の知見活用としては、静岡大学教育学部教授の山崎保寿氏、元学校長の松林紘伯氏、牧之原市社会教育委員会委員長の鈴木一行氏に御意見をいただきました。

4 点検・評価結果の構成

点検・評価結果については、「牧之原市教育委員会の自己点検・評価シート」で表しました。

(1) 牧之原市教育委員会の自己点検・評価シート

教育委員会の事業内容及び事業体系を大きく 3 つの大項目に区分し、自己点検・評価シートで構成しています。

① 大項目 1：教育委員会の活動

教育委員会という組織の自らの行動、すなわち教育委員が自ら行う行為・活動を中心に、6 つの中項目に分け、点検事項として小項目を設けました。

この大項目内については、「評価」というより「点検」といった性質が強く、事業実施年度における行為・活動の点検を行うものです。

② 大項目 2：教育委員会が管理・執行する事務

地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び牧之原市教育委員会の権限の一部を教育長に委任する規則の定めるところにより、教育委員会の権限のうち教育長に委任せず教育委員会が合議によって定め実施する事項について、教育委員会が自ら管理・執行する事務として区分し、12 の中項目に分けて構成いたしました。

この大項目内の各項目については、各事業実施年度において、教育委員会が計

画し実施する性質のものではなく、事象が発生したときに法律等により実施義務が生じるものであり、①の大項目と同様に「点検」の性質が強く、事業実施年度における事象の発生状況とその事象への対応状況の点検を行うものです。

その結果、「平成24年度はなかった。」という表現の点検結果となる項目が生じると同時に、これらの項目については、実現度・重要度の視覚的表現部については適正な表示ができないことから空欄といたしました。

③ 大項目3：教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

教育委員会の職務及び事業から①及び②に掲げた事項を除いた部分について、管理・執行を教育長に委任して行う事務としてまとめることといたしました。この部分については、牧之原市の総合計画のもとに、毎年発行している牧之原市の教育に掲げられた重点施策16項目について評価を行うことといたしました。

II 牧之原市教育委員会の事業内容

自己点検・評価についての報告書をまとめるに当たっては、まずその対象となる教育委員会の権限に属する事務について、その概要の説明が必要となることから、教育委員会の事業内容及び事業体系について記述し、その後、点検及び評価の対象年度における主要な事業について記述することといたします。

教育委員会の事業内容及び事業体系については、既に「点検・評価結果の構成」において記述したとおり、「1 教育委員会の活動」、「2 教育委員会が管理・執行する事務」、「3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」と大きく3項目に区分して表すことにいたしました。

以下、それぞれの大項目について示します。

1 教育委員会の活動

(1) 教育委員会とは

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）の定めるところにより、学校その他教育機関の設置・管理、その他の教育事務を執行することを職務権限とする行政委員会であり、5人の委員をもって組織される合議体の執行機関です。

(2) 教育委員会の構成

牧之原市教育委員会の構成は、次のとおりです。

ア 委員・・・委員は、牧之原市長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育・学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、市長が、市議会の同意を得て任命します。任期は4年で非常勤（教育長は常勤）です。

イ 委員長・・・教育委員会は、委員のうちから、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会を代表する者として、委員長を選挙します。任期は1年、ただし、再選される場合があります。

ウ 教育長・・・教育委員会は、委員のうちから、教育長を任命します。教育長は、教育委員会の指揮監督の下に、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどり、事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督します。

牧之原市教育委員会委員の紹介

(平成25年3月現在)

役職名	氏名	任期
委員長	鈴木干城	平成21年11月16日～平成25年11月15日
委員	大石幸雄	平成24年11月16日～平成28年11月15日
委員	鈴木弘子	平成23年11月16日～平成27年11月15日
委員	澤田衛	平成22年11月16日～平成26年11月15日
教育長	八木儀一	平成21年11月16日～平成25年11月15日

(3) 教育委員会の活動

教育行政の基本的な施策の決定や諸問題の解決策の重要案件等进行处理するため、原則として、毎月1回開催する定例会と、必要に応じ緊急案件进行处理するために開催する臨時会のほか、事務局との情報交換・事務報告・その他の打合せ等を行っています。

2 教育委員会が管理・執行する事務

教育委員会の職務権限は地教行法第23条にその職務権限が定められていますが、その職務権限に係るもののうち、以下のものについては、同法第26条により教育長に委任することができず、直接、教育委員会が行うこととされています。

- (1) 学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること。
- (2) 学校、公民館及び図書館の設置及び廃止を決定すること。
- (3) 1件300万円を超える教育財産の取得を申し出ること。
- (4) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教育職員たる校長の任免その他の進退について内申すること。
- (5) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること。
- (6) 前2号に定めるもののほか人事の一般方針を定め及び懲戒を行うこと。
- (7) 県費負担教職員以外の校長、公民館長及び図書館長の任免を行うこと。
- (8) 教育長及び教育委員会事務局、教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事を行うこと。
- (9) 学校、公民館及び図書館の敷地を選定すること。
- (10) 1件500万円以上の工事の計画を策定すること。
- (11) 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃を行うこと。
- (12) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること。

- (13) 社会教育委員、公民館運営審議会委員及び図書館協議会委員を委嘱すること。
- (14) 校長、教員その他の教育関係職員の研修の一般方針を定めること。
- (15) 学齢児童、生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること。
- (16) 教科書の採択及び教科書以外の教材の使用に関すること。
- (17) 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行うこと。

以上を、教育委員会が自ら行う事務として整理いたしました。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

この事務は、「牧之原市の教育」に定めた平成24年度の教育施策の重点における、学校教育の基本方針に掲げた「高い『こころざし』を持った、心豊かでたくましい牧之原の子どもの育成を目指す」と社会教育の基本方針に掲げた「豊かでゆとりに満ちた生涯学習社会の実現に向け、生涯にわたり主体的に学び続け、活力あふれる人づくり、地域社会づくりを目指す」を基本とした事業となります。

以下は、この基本方針のもと平成24年度の重点に位置付けた16の施策について示したものです。

[1] 「次世代育成支援行動計画」を踏まえた幼児教育の推進

- (1) 笑顔の元気っ子の育成を目指す。
- (2) 親子で学ぶ教育環境づくりを進める。

[2] 遊びを通じた教育による「生きる力」の基礎づくり

- (1) 幼児理解を深め、自立性を育む支援計画を作成し実施する。
- (2) 幼児の気付きを大切にし、道徳性の芽生えを養う。

[3] 地域社会や幼稚園(保育園)、小・中学校と連携した教育の推進

- (1) 自然や地域の人々とのふれあい、感動体験をとおして、故郷を好きになる教育を実践する。
- (2) 幼稚園児(保育園児)、小・中学校児童・生徒及び幼(保)・小・中教職員間の交流を深める。
- (3) 安全・安心な幼稚園を目指し、防災・防犯に万全を期す。

[4] 基礎的・基本的な内容の定着と自ら学び、考え、表現する力の育成

- (1) 子どもに学ぶ喜びを実感させ、学ぶ意欲を育てる。
- (2) 個に応じた指導を進め、基礎的・基本的な内容の定着を図る。
- (3) 体験活動や問題解決的な学習を重視し、自ら学び、考え、表現する力の育成を図る。
- (4) 感性や豊かな心を育む読書活動を推進する。

[5] 自立と共生の心を育む教育の推進

- (1) 基本的な生活習慣や社会規範を身に付ける指導を徹底する。
- (2) 不登校児童・生徒や障害のある児童・生徒に対して、一人一人の教育的ニーズに応じた「特別支援教育」の充実を図る。
- (3) 人権及び男女共同参画意識の高揚を図り、他人を思いやる心やボランティア

精神を育成する。

(4) 望ましい食習慣をつくり、好ましい人間関係を育む食育を推進する。

[6] 生命を尊重する心を育てる道德教育の推進

(1) 全教育活動を通して、生命を尊重する心を育てる。

(2) 児童・生徒の内面に根ざした道德性が育成されるよう、心に響く魅力的な教材の活用と開発に努める。

(3) 感動が伴う道德教育となるよう、体験活動や地域の人材を活用した実践を積極的に行う。

[7] 国際理解、情報教育及び理科教育の推進

(1) 外国語指導助手による外国語(英語)・外国語活動の一層の充実を図ることや、中国を始めとする諸外国との友好交流の推進を通して、国際理解教育の推進を図る。

(2) 外国人児童・生徒の受入れ体制を整備し、充実した教育活動を行う。

(3) コンピュータやインターネットなどの活用による情報教育を推進するとともに情報モラルの向上を図る。

(4) 郷土の偉人鈴木梅太郎氏、山崎貞一氏に続く人材を育てるよう、理科教育の振興を図る。

[8] 地域に根ざした特色ある学校づくりの推進

(1) 郷土の自然や人と連携・協働し、豊かな体験と学びをつなぐ教育を推進する。

(2) 郷土を愛し、郷土に誇りと夢を持つ子どもを育てる教育を推進する。

(3) 「学校評議員制度」や「学校自己評価制度」を活用し、地域に開かれた学校運営を推進する。

(4) 安全・安心な学校を目指す防災・防犯体制の強化を図る。

[9] 教職員研修の充実と教職員の資質・指導力の向上

(1) 「確かな学力」を育てる授業の充実を最重点にし、全教職員がめざす方向を共有した研修を推進する。

(2) 種々の研修をとおして、教科に強い頼もしい教職員を育成する。

(3) 不登校、いじめ、非行等の表れを早期に発見し、子ども理解を基盤とした明るく温かい学級づくりに取り組み、市教委と学校との連携を強化する。

(4) 教職員の地域・社会活動への積極的な参加を奨励する。

(5) 教育公務員として、綱紀粛正に努め、信用失墜行為の根絶を図り、信頼される学校づくりを目指す。

[10] 豊かさとうるおいをもたらす生涯学習活動の推進

(1) 市民の生涯学習に関する意識の高揚を図るとともに、ライフスタイル・ライフステージに合った学習機会の提供、学習活動の充実を図る。

(2) 生涯学習のための情報の収集・整理・提供に努めるとともに、社会教育施設の活用を図る。

- (3) 自主的に生涯学習活動に取り組む各種グループの育成・支援を図る。
 - (4) 社会教育活動を通して、地域づくりと人づくりを推進する。
- [11] 活力ある地域をつくることや、生涯学習活動支援のための、拠点となる公民館の充実
- (1) 多様なニーズに応える学習機会の充実と指導者育成を図る。
 - (2) 公立公民館3館と地区公民館の連携を図り、地域の特色を活かした活動の充実に努める。
 - (3) ボランティア団体、学習グループなどの育成に努め、地域に根ざした公民館活動を推進する。
 - (4) 家族で地域の行事などへ積極的に参加することを推進する。
- [12] 心豊かでたくましい青少年の育成
- (1) 地域・家庭・学校・企業などと連携した活動をとおして、青少年健全育成の推進を図る。
 - (2) 青少年を取り巻く社会環境の充実に努め、各種団体との連携を更に深める。
- [13] 明るく健全な家庭を築くための成人教育の推進
- (1) 成人教育の学習機会を充実させ、家庭教育力の向上を図る。
 - (2) 人権意識の高揚を図り、正しい人権感覚を育む。
- [14] 図書館の利用と読書活動の推進
- (1) 相良図書館、榛原図書館、移動図書館「ひまわり号」の連携強化により、利用しやすい図書館の運営を図る。
 - (2) すべての年齢層に読書を奨励するとともに、読書活動グループの育成を図る。
 - (3) 郷土資料及び行政資料の整備を図り、情報の提供に努める。
 - (4) 「子ども読書活動推進計画」の推進を図る。
- [15] 芸術・文化の振興
- (1) 芸術・文化活動を充実させ、文化施設の利用を促進する。
 - (2) 市民による文化ホール事業を推進する。
 - (3) 芸術・文化活動団体の支援・育成をする。
 - (4) 文化施設の耐震化を進め、安全な施設運営に努める。
- [16] 文化財の保護と継承
- (1) 地域の貴重な財産である文化財を保護するとともに、良好な形で後世に継承する。
 - (2) 郷土の歴史や文化への理解を深め、文化財の保護や郷土愛の意識を高める。
 - (3) 史料館・民俗資料館の適切な管理を図る。

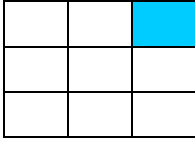

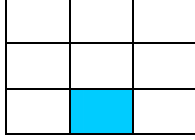
Ⅲ 牧之原市教育委員会の自己点検及び評価

教育委員会の自己点検・評価について報告書をまとめるにあたり、教育委員会が行っている大項目1、2、3について自己点検評価シートにまとめました。

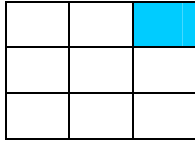
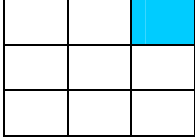
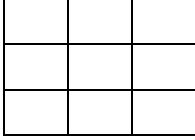

牧之原市教育委員会 自己点検・評価シート	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>3</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> </table> 重要度	3			2			1	2	3	3 評価とし、以下の 成状況により評価しています。 実現度 3… 成またはほ 成している (概 80 以上) 2…概 成している (概 40 超~80 満) 1… 成していない (概 40 以下) 重要度も上記に じて評価し、 当する スを りつぶしています。
3											
2											
1	2	3									

大項目1 教育委員会の活動

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価										
(1) 教育委員会の 会議運営改	①教育委員会会議の 開催回	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: #00aaff;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 重要度										教育委員会の施策について審議するため、定例会を月1回、計12回開催した。また、人事に係る議案についての臨時会を1回開催した。
②教育委員会会議の 運営上の工	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td style="background-color: #00aaff;"></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 重要度										説明を に行い、場合により、事前打合せを行うなど、効率的に審議が図るよう努めている。	
(2) 教育委員会の 会議の公開、 保護者地域 民への発信	①教育委員会会議 者の状況	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td style="background-color: #00aaff;"></td><td></td></tr> </table> 重要度										平成24年度において 望者はなかったが、会議は非公開案件を除き公開している。
②議事 等の公開、 報・公 活動の状況	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: #00aaff;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 重要度										「まきのはら教育委員会だより」を発行し、事務事業の内容や教育委員会の開催時期などについて市民に 報した。	
(3) 教育委員会と 事務局との連 携	教育委員会事務局 との連携	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: #00aaff;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 重要度										重要な案件については、事前に議案の打ち合わせを行うなど連携を図っている。
(4) 教育委員会と 長との連携	教育委員会と 長と の意見交換会の実施	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: #00aaff;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 重要度										市長と教育行政(予算)に係る問題について、意見交換会を実施した。(1回)

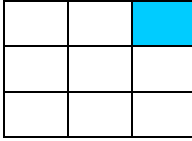
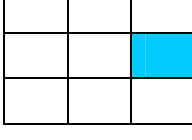
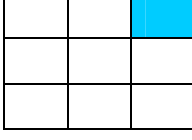
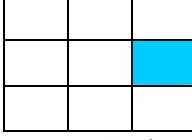
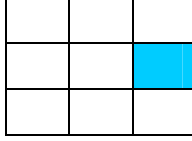
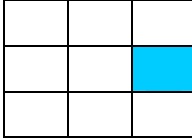
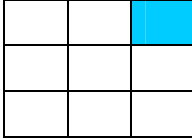
中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
(5) 教育委員の自 己研	研修会への参加状況	実現度 ↑  重要度	静岡県市 教育委員会連 協議会、静岡県都市教育委員長会及び静岡県都市教育長協議会で実施される教育委員研修会に参加した。
(6) 学校及び 教 育施設に対す る支援・条件 整備	①学校 間	実現度 ↑  重要度	例月の教育委員会を6回学校で開催し、その際に学校の様子を把握するため授業参観等も行った。その他、運動会など学校での各種行事にはその都度参加している。
	②所管施設の 間	実現度 ↑  重要度	学校 食 ンターの 間を実施した。

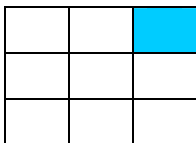
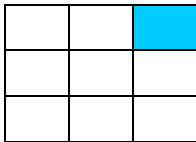
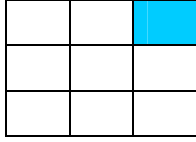
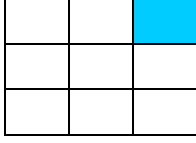
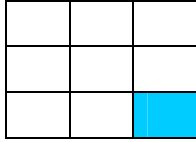
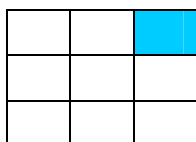
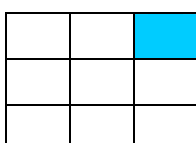
大項目 2 教育委員会が管理・執行する事務

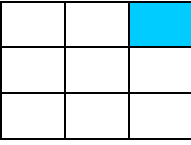
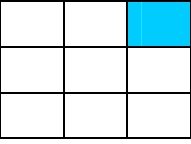
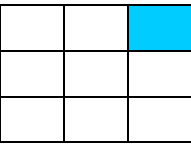
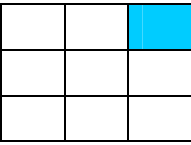
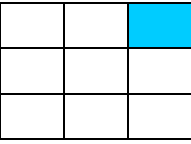
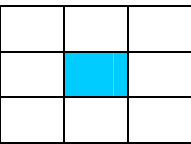
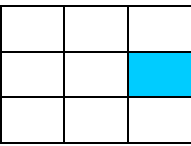
中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
(1) 学校教育及び社会教育に関する 一般 方針を定めること		実現度 ↑  重要度	平成24年度における牧之原市教育委員会の主要施策を り んだ「教育施策の重点」を、教育委員会に り 決定した。
(2) 教育委員会規則の制定又は改廃を行う こと		実現度 ↑  重要度	牧之原市榛原郷土資料館条例施行規則の廃止、牧之原市図書館 ス ン ー 告 掲 取 要 の 規制定等を行った。
(3) 教育委員会の所管に属する学校 そ 他の教育機関の設置及び廃止に関する こと		実現度 ↑  重要度	平成24年度はなかった。
(4) 職員の任免を行うこと		実現度 ↑  重要度	教育委員会採用職員の採用・退職について、決定を行った。

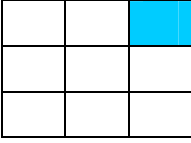

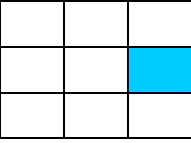
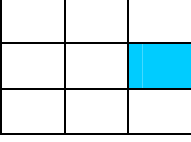
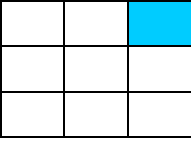
中項目	小項目	点 検 ・ 評 価										
(5)	県費負担教職員の任免その他の 進退 について内申すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: #00aaff;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 重要度										教職員人事については、3月に内申を行った。
(6)	県費負担教職員の服務、監督の一般方 針を定めること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 重要度										平成24年度はなかった。
(7)	学校教育及び社会教育に関する 各種 の委員等の任命及び委嘱を すること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: #00aaff;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 重要度										平成24年度においては、学校評議員、市社会教育 委員等計4件の任命・委嘱をした。
(8)	教育予算その他議会の議決を経るべき 議案について意見を申し出ること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: #00aaff;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 重要度										平成24年度 正予算(6月、9月、12月、2月定 例会) 平成23年度 入 出決算(9月定例会) 平成25年度予算の 成に向けた教育費に関する要 望書の提出(11月) 平成25年度当 予算(2月定例会)
(9)	教科用図書の採択を行うこと	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 重要度										平成24年度はなかった。
(10)	校長、教員その他の教育関係職員の研 修の一般方針を定めること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td style="background-color: #00aaff;"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 重要度										校長会、教 会、教務主任者会、生徒指導主事、 主任会等各種研修会の計画について指導をした。
(11)	学齢児童及び生徒の就学すべき 学校 の区域を設定し、又はこれを 変更す ること	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 重要度										平成24年度はなかった。
(12)	指定文化財を指定し、又は解除するこ と	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 重要度										平成24年度はなかった。

大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
(1) 「次世代育成支援行動計画」を踏まえた幼児教育の推進	①笑顔の元気っ子の育成を目指す。	実現度 ↑  重要度	さまざまな遊びを通して、主体性や思いやりの心を育てる環境構成に努めている。 な体、外で元気に遊ぶたくましい子どもを、自然とのふれ合い・食育指導・感動体験の充実を通して育成することを目指している。
	②親子で学ぶ教育環境づくりを進める。	実現度 ↑  重要度	研修会、家庭教育学級など保護者としての学びを深める機会を設けた。 地域の方や保護者が参加できる取組を通して、親子のふれあいや親同 が情報交換を にするような機会を設定した。
(2) 遊びを通した教育による「生きる力」の基礎づくり	①幼児理解を深め、自立性を育む支援計画を作成し実施する。	実現度 ↑  重要度	一人ひとりを生かすきめ かな保育計画や個人記 を作成し、個としての成長を見取り、園内での共通理解を図り充実した保育に生かしている。 自立性を育む遊び、環境構成や幼児理解についての研修を進めるとともに、 幼稚園教育要の主旨を踏まえ、支援計画を作成している。 ○市教育委員会指導主事に要 問を 頼し、研修の充実を図った。
	②幼児の気付きを大切に、道徳性の芽生えを養う。	実現度 ↑  重要度	語や 本、 育、 等、さまざまな体験を通して、人やものと関わり、思いやりの心やしさを育てるよう、きめ かな支援を行った。
(3) 地域社会や幼稚園（保育園）、小・中学校と連携した教育の推進	①自然や地域の人々とのふれあい、感動体験をとおして、 故郷を好きになる 教育を実践する。	実現度 ↑  重要度	動 など、 の自然や生命とのふれあいによる直接的な体験、 本、 語、 などによる間接的な体験を通して、豊かな感性や表現力、環境を大切にする心が育つことを目指している。 保育参観や 会、園だより等を活用し、保護者と地域が協働して子どもを育てる ンターとして機 するよう情報発信に努めている。
	②幼稚園児（保育園児）、小・中学校児童・生徒及び幼（保）・小・中教職員間の 交流を深める。	実現度 ↑  重要度	中学生の職業体験の受け入れや学校との学習交流を積極的に進めた。 幼・小の円 な接続のために子どもに関する情報交換、保育や生徒指導にかかる研修を共有するなど、職員間の交流に努めている。
	③安全・安心な幼稚園を目指し、防災・防犯に万全を期す。	実現度 ↑  重要度	防災計画に基づいた防災 の実施や子どもの安全安心に関する保護者への 発を積極的に行った。 への対応のための 、保護者や地域 民との し合いを持った。

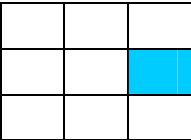
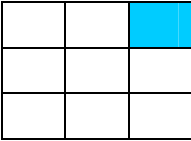
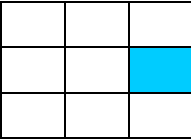
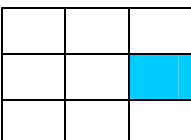
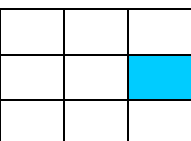
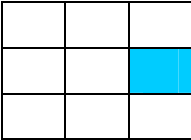
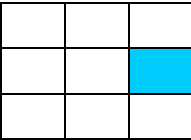
中項目	小項目	点検・評価	
(4) 基礎的・基本的な内容の定着と自ら学び、考え、表現する力の育成	①子どもに学ぶ喜びを実感させ、学ぶ意欲を育てる。	実現度 ↑  重要度	小中連携の授業研究や、教育センター指導主事問等の機会を生かして授業参観及び協議会へ参加した。 協議会での発表や、指導・助言の場を通して学校・子どもたちの良さを評価付けるとともに課題を提示することに努めた。
	②個に応じた指導を進め、基礎的・基本的な内容の定着を図る。	実現度 ↑  重要度	教員・助員の配置により、児童生徒を見取り、実態に応じたきめやかな指導を行った。 全小・中学校に課後支援員を置き、基礎的・基本的な学習内容の定着を図った。
	③体験活動や問題解決的な学習を重視し、自ら学び、考え、表現する力の育成を図る。	実現度 ↑  重要度	地域人材の活用や、勤労生産活動等体験を重視した教育活動を推進した。 子どもの興味・関心をさえた問題解決学習を重視した授業改善を推進している。 友だちと関わりながら学び合う力の育成を目指した授業研究を進めている。
	感性や豊かな心を育む読書活動を推進する。	実現度 ↑  重要度	保護者や地域の読みかせボランティアや郷土民保存グループなどの協力を得て、読書の時間等を効果的に活用した読書活動を開いている。
(5) 自立と共生の心を育む教育の推進	①基本的な生活習慣や社会規範を身に付ける指導を徹底する。	実現度 ↑  重要度	「早・早き・」の生活習慣についての児童生徒及び保護者への発表を行っている。 養護教諭と担任・学年部が連携し、生活習慣を整える必要がある児童生徒への個別指導を行っている。
	②不登校児童・生徒や障害のある児童・生徒に対して、一人一人の教育的ニーズに応じた「特別支援教育」の充実を図る。	実現度 ↑  重要度	事務局に特別支援教育の指導主事を置き、学校問等を通して、その充実に努めた。 適応指導教員「フルール」の指導体制の充を図っている。 回相員の学校問をくし、授業参観後の教職員・保護者支援を充実させた。
	③人権及び男女共同参画意識の高揚を図り、他人を思いやる心やボランティア精神を育成する。	実現度 ↑  重要度	各学校における自立と共生の心を育む人権教育の充実を図っている。 人権教育指導プログラムを活用した研修推進を行っている。 社会教育課と連携し、人権教育地域指導者習会への教職員の参加を通して、各学校における人権意識の持続・向上に努めた。

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
(5) 自立と共生の 心を育む教育 の推進	望ましい食習慣を つくり、好ましい人間 関係を育む食育を推 進する。	実現度 ↑  重要度	学校や 養教、食 理員と連携し、食指 導を通して、生涯にわたる食育の基盤づくりを 行っている。 家庭教育学級や保護者参観等の機会を生かし、家庭 と連携しながら「食育」を推進している。
(6) 生命を尊重す る心を育てる 道徳教育の推 進	①全教育活動を通し て、生命を尊重する心 を育てる。	実現度 ↑  重要度	各教科や道徳、特別活動及び交通安全指導、防 犯、防災教育等を通して生命を大切にする指導 を行った。 保健健 指導や食育、学 等を通して自他の 生命を尊重する を育てている。
	②児童・生徒の内面に根 ざした道徳性が育成さ れるよう、心に響く魅力 的な教材の活用と開発 に努める。	実現度 ↑  重要度	市道徳教育研 校を指定し、教材開発や授業改 を推進した。 いじめに関する題材を い、いじめ根絶を目指 した取組を実践した。
	③感動が伴う道徳教 育となるよう、体験活 動や地域の人材を活 用した実践を積極的 に行う。	実現度 ↑  重要度	指定校では授業を公開し、市内全職員による研 協 議を行っている。指定校の授業に学びながら、い の実践を情報交換することで、児童生徒の心に響く 授業づくりを進めている。 「 っ人さん(社会教育課)」を活用し、外部 からの を しての道徳授業を積極的に行 った。
(7) 国際理解、情 報教育及び理 科教育の推進	①外国語指導助手によ る外国語(英語)・外国語 活動の一層の充実を図 ることや、中国を始めと する諸外国との友好交 流の推進を通して、国際 理解教育の推進を図る。	実現度 ↑  重要度	(外国語指導 助手)を活用した中学校英語教育、小学校外国活 動の時間の充実を図った。 中国 日教育 行団との教育交流会を通して中 国との友好関係を図ることができた。
	②外国人児童・生徒の 受入れ体制を整備し、 充実した教育活動を 行う。	実現度 ↑  重要度	相 員の 置、 就学齢外国人の保護 者への就学案内等を行っている。
	③コンピュータやイ ンターネットなどの 活用による情報教育 を推進するとともに 情報モラルの向上を 図る。	実現度 ↑  重要度	県教育 と連携した市 (情 報通信 術)研修 会を開催し、参加した教 の力 形成 びに自 校での 習を通して学校全体の指導力向上 を図った。 活用のため、大 ジルテ の 置及び全職 員へ の 備など、使いやすい環境整備を整え るとともに、充実した授業実践に努めるよう指 導した。

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
(7) 国際理解、情報教育及び理科教育の推進	郷土の偉人鈴木梅太郎氏、山崎貞一氏に続く人材を育てるよう、理科教育の振興を図る。	実現度 ↑  重要度	理科支援員を2校に 置し、モ ルとして、理科教育充実のための支援策を行った。 指導要 移行 置に対応し、理科備 を整備充実させた。 山崎こども教育振興財団と連携し、理科教育振興のための事業の充実を図った。
(8) 地域に根ざした特色ある学校づくりの推進	①郷土の自然や人と連携・協働し、豊かな体験と学びをつなぐ教育を推進する。	実現度 ↑  重要度	地域人材の活用や、勤 生産活動等体験を重視した活動を推進している。 総合的な学習の時間での 人会、各種 施設、地元生産者等と連携した地域学習への取組を行った。 社会教育課と小学校が連携し、実施する通学合 の充実を図っている。
	②郷土を愛し、郷土に誇りと夢を持つ子どもを育てる教育を推進する。	実現度 ↑  重要度	学校 園、 園を活用し、地場産業について体験を通して学ぶ教育活動を実践する学校が えている。 総合的な学習の時間を通して、ふるさとの今と 来を学び、ふるさと牧之原の良さを実感するとともに、子どもたちのこころざしを育てる教育に力を いている。
	③「学校評議員制度」や「学校自己評価制度」を活用し、地域に開かれた学校運営を推進する。	実現度 ↑  重要度	学校評価の流れを 知し、各組織を生かした評価を推進し、地域 民や保護者の学校への関心を高める取組を行っている。 各学校は、地域の人材や関係諸団体との連携を積極的に進め、地域とともにある学校として教育活動を 開している。
	安全・安心な学校を目指す防災・防犯体制の強化を図る。	実現度 ↑  重要度	年間2回の学校防災会議の開設と、地域の活動や防災 への児童生徒の参加促進を図った。 対策として5小学校区を中心に、登下校中の地震 を地域との連携の中で実践した。 防災課と連携し、各校の実情を した 所 ニュアルづくりを推進した。

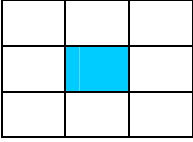
中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
(9) 教職員研修の 充実と教職員 の資質・指導 力の向上	①「確かな学力」を育てる授業の充実を最重点にし、全教職員がめざす方向を共有した研修を推進する。	実現度 ↑ 重要度	各校では「確かな学力」を育てるために目指す研修の方向を共有する中で授業研 を積極的かつ意図的に行っており、授業改 が進んでいる。事務局で学校 問（同行 問）を行い、各校の研修の進捗状況を把握すると同時に、研 協議に参加しながら研修全体を支援した。
	②種々の研修をとおして、教科に強い 頼もしい教職員を育成する。	実現度 ↑ 重要度	市主催の 任者研修、10 年経験者研修や、市教育会と連携した「道徳研 発表会」を通して、教職員の視 を げ資質向上につなげている。
	③不登校、いじめ、非行等の表れを早期に発見し、子ども理解を基盤とした明るく温かい学級づくりに取り組み、市教委と学校との連携を強化する。	実現度 ↑ 重要度	いじめ実 の方法を見直し、学校とともに児童生徒の実 を正確につかむことにより、 で適切な対応ができた。 の一報を各校に徹底させ、状況の把握に努めながら関係機関との連 整を図っている。生徒指導上の問題行動等に対する対応が早くなるとともに、関係機関との連携が充実してきている。 子どもたち自らがいじめを くすための取組をするよう指導することで、自 作用を高めた。
	教職員の地域・ 社会活動への積極的な参加を奨励する。	実現度 ↑ 重要度	地域 民として、児童生徒に係る活動へ支障ない限り参加・応援できるように を けている。地域のイ ントや社会活動についての 題を意図的に提供し、地域社会の一員であるという自覚を高めさせている。
	教育公務員として、綱紀粛正に努め、信用失墜行為の根絶を図り、信頼される学校づくりを目指す。	実現度 ↑ 重要度	市校長連 会や国・県と連動した実 等の機会を生かして、法 や管理職の職務内容の確 等の指導を行った。 校長連 会や臨時の対策会議を通して、不 事根絶を目指し、指導の徹底を図った。
(10) 豊かさとうるおいをもたらす生涯学習活動の推進	①市民の生涯学習に関する意識の高揚を図るとともに、ライフスタイル・ライフステージに合った学習機会の提供、学習活動の充実を図る。	実現度 ↑ 重要度	だれもが、いつでも学べる学習機会の場の提供として、子どもから高齢者までを対象とした、田 (80 1 010 人、20 年度から運営委員会方 に移行)、はりはら (108 1 175 人)を始め、まきのはら・子ども教 (16 教)を開した。 公民館主事、榛原地区生涯学習推進員により、各地区の計画に則った学習会等を 開している。



中項目	小項目	点検・評価
(10) 豊かさとうる おいをもたら す生涯学習活 動の推進	②生涯学習のための 情報の収集・整理・提 供に努めるとともに、 社会教育施設の活用 を図る。	 <p>実現度 ↑</p> <p>重要度</p> <p>学校支援、社会教育 等のための地元 、 団体等を発 するため、人材 スト（ っ人 さん）を更 し、活用している。 施設の活用としては、田 ・はりはら をは じめ、各種 、公民館主事連 会議やボラン ティア団体及び市民の生涯学習や地域活動の推 進のため、公立公民館3館や を活用 している。</p>
	③自主的に生涯学習 活動に取り組む各種 グループの育成・支援 を図る。	 <p>実現度 ↑</p> <p>重要度</p> <p>地域の子どもを育むためのボランティア活動や 地域のつながりづくりのために 力している5 団体に、地域推進活動の助成を行った。</p>
	社会教育活動を通 して、地域づくりと人 づくりを推進する。	 <p>実現度 ↑</p> <p>重要度</p> <p>中 公民館まつりをはじめ区公民館活動及び榛 原地区生涯学習活動、ふるさと教 や万年青大 学などの事業を行った。また、公民館主事連 会による一年間の活動報告の発表研修会に 部 区が参加し、地域間の交流推進に努めた。</p>
(11) 活力ある地域 をつくること や、生涯学習 活動支援のた めの、拠点と なる公民館の 充実	①多様なニーズに応 える学習機会の充実 と指導者育成を図る。	 <p>実現度 ↑</p> <p>重要度</p> <p>生涯学習や地域学習の一環で田 、はりはら の活動発表・文化 及び区公民館活動発表研 修会を開催した。また、学校支援事業による市 民ボランティアの活用として人材 スト「 っ人さん」への登 を推進し、有効活用を図っ ていく。</p>
	②公立公民館3館と 地区公民館の連携を 図り、地域の特色を活 かした活動の充実に 努める。	 <p>実現度 ↑</p> <p>重要度</p> <p>地域活動の推進拠点である公立公民館3館を中 心に各区公民館活動を 開している。拠点公民 館における 範的な活動が、地区公民館事業に 地域性を活かしながら取り入れられている。</p>
	③ボランティア団体、 学習グループなどの 育成に努め、 地域に 根ざした公民館活動 を推進する。	 <p>実現度 ↑</p> <p>重要度</p> <p>「 っ人さん」による人材 ンを立ち上げ て有効活用に努力している。公民館まつりやふ るさと教 においては、ボランティア団体の協 力を得て円 な運営が図られている。</p>
	家族で地域の行事 などへ積極的に参加 することを推進する。	 <p>実現度 ↑</p> <p>重要度</p> <p>地域に 接している公民館主事や生涯学習推進 員を通じ参加を促した。地区公民館まつりや文 化 等の行事には積極的な参加がなされてい る。</p>

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
(12) 心豊かでたく ましい青少年 の育成	①地域・家庭・学校・ 企業などと連携した 活動をとおして、青少 年健全育成の推進を 図る。	実 現 度 ↑	重要度 「家庭と地域で子どもを育てる市民のつどい」 を実施した。市教育委員会と社会教育委員・青 少年問題協議会・青少年健全育成推進委員会また 人権 護委員等の共催で開催し、 450 名の参 加があった。
	②青少年を取り巻く 社会環境の充実に努 め、各種団体との連携 を更に深める。	実 現 度 ↑	重要度 子どもを 育 る「安全ネット ー 」として学校、 、地域等と連携した不審者情報の携 ー ルを 信じている。また、青少年健全育成推進 委員会や 運動ボランティア連 会等で情報を 交換し、連携を取りながら、子どもたちの安心・ 安全に取り組んだ。
(13) 明るく健全な 家庭を築きた ための成人教育 の推進	①成人教育の学習機 会を充実させ、家庭教 育力の向上を図る。	実 現 度 ↑	重要度 家庭教育学級を 26 (3 児含) 学級開 した。 各学級では学習会を年間 6 ～ 7 回実施し、合同 研修会として開催した「テ 子 」では、 親の視点からみる子育てについて でき、 貴重で充実した研修会であった。
	②人権意識の高揚を 図り、正しい人権感覚 を育む。	実 現 度 ↑	重要度 男女協働参画社会実現のための「男と女のフ ーラ 」を開催した。また、人権尊重意識 成 のための青少年ボランティア活動を実施など 様々な観点から一人ひとりの人権意識の充実・ 向上に努めた。
(14) 図書館の 利用と読書活 動の推進	①相良図書館、榛原図 書館、移動図書館「ひ まわり号」の連携強化 により、利用しやすい 図書館の運営を図る。	実 現 度 ↑	重要度 図書コー ーの充実と共に、各分 に った選 書を行うことで、より市民の要望に った 書 の充実を図った。 「ひまわり号やおはなし会」を地域の行事等に 出向いて開催し、利用の促進を図った。
	②すべての年齢層に 読書を奨励するとと もに、読書活動グルー プの育成を図る。	実 現 度 ↑	重要度 機動力を活かした移動図書館の や、おはな し を通して子供と親の読書への関心を高め た。 読み かせボランティアの研修を行い、ボラン ティアの育成を図るとともに、グループの打合せ などに参加し連携を深めた。
	③郷土資料及び行政 資料の整備を図り、情 報の提供に努める。	実 現 度 ↑	重要度 現在ある郷土資料を確 し、各館に ー で作 成した郷土資料の充実にも努めた。 牧之原市出身作家やお の資料などを分かりや すく 置した。

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価	
(14) 図書館の 利用と読書 活動の推進	「子ども読書活動推進計画」の推進を図る。	実現度 ↑	図書館職員による学校 間や支援、図書担当教との研修会に参加するなど、学校図書との連携を強化することにより推進に努めた。 重要度
(15) 芸術・文化の 振興	①芸術・文化活動を充実させ、文化施設の利用を促進する。	実現度 ↑	文化 及び芸 を開催し、芸術・文化活動の促進が図られた。また「文芸まきのはら第7号」の発 も行った。 県・市の行事や市の観 行事に史料館の 料開 を実施し、多くの方が来館し利用促進が図られた。 相良総合 ンター「い〜ら」の管理業務の一部を社会 協議会へ委 した。
	②市民による文化ホール事業を推進する。	実現度 ↑	文化ホールを使用して文化振興事業を実施する市民団体に対して文化ホール事業費 助 を交付し、ホールの利用推進が図られた。24 年度は 4 団体に 助 を交付した。
	③芸術・文化活動団体の支援・育成をする。	実現度 ↑	市文化協会・はいばら太 保存会へ活動費の助をして、団体の活動支援が図られた。
	文化施設の耐震化を進め、安全な施設運営に努める。	実現度 ↑	榛原文化 ンター会館 の耐震 強工事および ータの設置、空 設備やトイ の改修を行った。 大 トラッ の進入を容 にするため、相良総合 ンター大道 入 の修 を行った。
(16) 文化財の 保護と継承	①地域の貴重な財産である文化財を保護するとともに、良好な形で後世に継承する。	実現度 ↑	文化財保護審議会委員により、市内の指定文化財の保存及び保護の確 を行った。 県指定文化財「相良の根上り 」の保存事業を実施した。 年度に発 を実施した 下 (部) ・ 合 (静) の出土 原・図面作成作業を実施した。また、 合 発 報告書を作成した。 下 発 に伴い出土した木 等の保存処理を行った。
	②郷土の歴史や文化への理解を深め、文化財の保護や郷土愛の意識を高める。	実現度 ↑	り・ こしなどの 代体験授業を 間田・ ・ ・相良小学校で実施。文化財に対する意識高揚が図られた。 民俗史料館の見学について、 間田小学校の4年生が の民 などの 強を実施した。 前年度作成した、市内文化財を で紹介した子「牧之原市の文化財」を市内小中学校や区等へ 付した。 郷土の発 に くした歴史上の人 を紹介した子を作成した。

中項目	小項目	点 検 ・ 評 価
	③史料館・民俗資料館 の適切な管理を図る。	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> 実現度 ↑ </div> <div style="margin-right: 10px;">  </div> <div style="margin-right: 10px;"> 重要度 </div> </div> <p style="margin-left: 150px;">史料館特別 として「地震 」を11月17日～12月2日まで開催し、2,400人が来場した。</p>

IV 学識経験者の意見

各大項目について、総体的に教育委員会の事業内容に対応して適した評価がなされている。大項目の下に ランスよく中項目、小項目が設定され、 なる自己点検・評価がなされている。

1 「大項目1 教育委員会の活動」について

年度の状況を踏まえ、それを 持発 させている状況が見られ、1年間の取り組みの成果が出ているものが多い。

(2)(3)について、議事 の公開、 報・公 活動に努めており、教育委員会と 長部局との意見交換の円 化にも努力している。ただし、 年同様教育委員会会議への 望者が かった点について、「教育委員会だより」の発行で 一できているものと推 できるが、 者を やすという目 を掲げるのであれば、原 を し、開催日・時間 の変更、興 のわく 等の対策が必要かと思われる。

(5)(6)について、教育委員会の自己研 については、各種研修会への参加をはじめ努力がなされている。学校 問・授業参観も前向きに取り組んでいると評価できる。また、所管施設の 問については、学校及び教育施設の現状を把握する上で大切なことであるため、計画的に実施する必要があると思われる。

2 「大項目2 教育委員会が管理・執行する事務」について

各項目について、重要度も実現度も高い項目が多く、教育委員会が管理・執行する事務および関連する施策について、前向きな取組が行われている。

(1)(2)について、平成24年度における牧之原市教育委員会の主要施策を り んだ「教育施策の重点」を策定し、(2)に見られるように各規則の廃止・制定について必要な協議がなされている。

(7)について、平成24年度の学校評議員、社会教育委員等の任命も適切に行われており、学校教育及び社会教育等の基礎的推進の強化につながっている。また、全体として自己評価の高い項目が多く、努力の がうかがえる。

評価項目12項目中、5項目が「24年度はなかった」の記 となっているが、 県・国・他市 の情報も入手し、 取りで対応の必要性等を検 しておくことも必要かと思われる。

3 「大項目3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」について

小項目毎の施策の重点が しく示されており、点検・評価の結果が分かりやすくなっている。 年度よりも実現度のアップした項目も えており、全般的には

着実に事業が実施できているものと評価できる。しかし、点検・評価内容が一年と同じ記述内容で実現度の評価がアップしている項目については、評価の上昇した点を特記する等記述の工夫が必要かと思われる。

(1)(2)(3)について、「次世代育成支援行動計画」を中心として、幼児教育の充実が図られている。特に、遊びを通して自立性を育む取り組みへの支援については、市教育委員会指導主事の活用について大いに評価できるため、更なる充実・充実を目指したい。今後も、幼小中の連携を深め、一層充実させていくことが望まれる。幼児に対する防災計画に基づく指導にも力を入れており、牧之原市の置かれている地理的環境から、今後も一層積極的に取り組んでいくことが重要になる。

(4)(5)について、基礎的・基本的な内容を定着させるための積極的な取り組みがよくなされている。また、自立性を育むために、生活習慣の改訂にも努力がなされているが、(5)①については実現度が低いことから、今後の更なる継続指導が必要であるとともに、実践方法の工夫や学校・家庭・地域の連携に期待するものである。なお、実現度を高く評価した点について、点検・評価欄の内容だけでは評価結果に届いておらず、その根拠がわかりにくいいため、「出来なかった、足りなかった」等の改訂点や課題を付記する等、評価結果を容易に理解できるような評価欄への記述の工夫が必要と思われる。

(6)(7)について、外国語指導、国際理解教育、理科教育などが充実している。

(8)について、①の地域人材の活用も評価が高い。ただし、外国人児童生徒の受け入れ体制に関しては、今後もより有効な対策が望まれる。この対策についても、評価が高く成果を上げており、特に本年度、この対策として5小学校区を中心に登下校中の地震対策を地域との連携の中で実現できたことは、時機を得たものであり大いに評価できる。更なる充実向上を期待するところであり、(16)③のような取り組みも含めた市全体での意識向上を図り、今後も継続して充実させていくことが重要である。

(9)の教職員研修について、概して実現度が高いものの、法改正が図られている中であり、今後も充実した研修が望まれる。

(11)について、一年と同評価で高い実現度となっており、公民館の充実が課題として挙げられている。公民館活動は牧之原市にとって、地域の連携や生涯学習の推進及び災害時の支援を図る上で重要な活動となるため、全市に限り公民館活動が開かれるよう本格的な施策を早急に検討されることが必要と思われる。

(14)について、読みかせボランティアの活用や図書館職員による学校訪問

など、積極的な取り組みが見られる。評価の中程度の項目については、今後も継続した工 が必要である。

(16) について、牧之原市の歴史文化を活用した取り組みが積極的になされている点は、評価できる。

V 総合評価

点検・評価の項目中、大項目1教育委員会の活動については、教育委員会会議定例会の毎月開催、長との意見交換及び学校 問の実施等を踏まえ、概 全項目において実現度を中位以上の評価としました。 し、会議の公開、情報発信の項目では今年度も会議の 望者がないたため、今後も「教育委員会だより」等を活用し、教育委員会の活動についての情報発信をより充実していく必要を感じております。また、教育施設に対する支援・条件整備の項目における所管施設の 問につきましても、より多くの施設を 問し、その実情を把握するとともに意見・要望等を取 取る等、所管施設の効果的・効率的な運営が図られるよう実現度の向上に努めてま いります。

大項目2教育委員会が管理・執行する事務については、法律等によって義務付けられる事務であることから最高位の重要度と評価しました。実現度においては、実施する事象がなかった項目を除き、必要なときに必要な事務が 行されたという点から、概 全項目において最高位の評価としました。今後も必要な事務の 行に際しては、 確実な執行に努めてま いります。

大項目3教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務については、平成24年度の教育施策の重点に位置づけられた16の施策について評価をしました。内容によっては、中長期的な観点からの評価となっていますが、幼児理解を深め自立性を育む支援計画の作成と実施の項目における、教育委員会指導主事の 問の実施及び研修の充実、地震・ に対して安全・安心な学校を目指す防災体制の強化の項目における、5小学校区を中心とした登下校中の地震 の実施、「いじめ」の早期発見と温かい学級づくりへの取り組みの項目における、子供たち自らによるいじめ根絶を目指した活動、そして郷土の歴史や文化への理解を深め郷土愛の意識を高める項目における、郷土の発 に くした歴史上の人 を紹介した 子の作成等については、今年度特に有効性、 位性を踏まえ実施した内容を踏まえ、最高位の実現度と評価しました。 し、重要度は高いものであっても、実現度が最高位に していない項目もありますので、それらにつきましては今後も実現度の向上に努めてま いります。また、自己点検・評価の方法、内容等についても、今後、 、 研 し充実を図ってま いります。

また、学識経験者から、多くの御意見・御助 をいただいておりますが、これらの御意見等については、市民の皆様の貴重な御意見、御助 として受け止めてま い

ります。

牧之原市教育委員会では、今後も各種事務内容の本旨を 識し、点検することはもとより、その結果等を く公表することにより、説明責任を果たし、また、教育委員会の事務を市民の皆様により理解していただき、皆様の御意見をいただきながら牧之原市の教育行政を推進してまいりたいと考えております。

牧之原市教育委員会 自己点検・評価報告書（平成 25 年 3 月）

発行 牧之原市教育委員会

421-0592 静岡県牧之原市相良 2 7 5 地

: (0548) 53-2642 : (0548) 53-2657

- :

: